



### コミュニティFMと情報網の整備について

万木 豊 議員

コミュニティFM放送局とは、平成4年1月に制度化された20W以下の出力で通常のVHS周波数帯を使用した放送局です。簡単に言うと高島市内だけで普通のカーラジオ等で聴けるFMラジオ局のことです。現在の放送局のように特定の人達

が作った番組ではなく、地域の特色を活かした番組や、地域住民が参加したり、番組制作にも参加する2WAYの番組、急を要する情報の提供や地域に密着した情報の提供点として、また地域の振興・その他、公共の福



祉の増進、住民福祉の向上に寄与する、豊かで安心・安全な街づくりに貢献できる事業であるといえます。

**問** 市ではコミュニティFM放送局をどのように捉えていますか。

**答** 政策部長

市の情報化計画で情報発信手段としての利用を検討課題に掲げており、地域情報の発信拠点として有効であると捉えています。地域密着型放送局としての特性を活かし、地域に特化した情報の発信など、地域活性化のきっかけとなるよう期待しています。

**問** 高島市内でNPO法人を立ち上げられ開局への気運が高まっています。市としての係わり、また支援する考えは。

**答** 市民環境部長

市のビジネスオーデイションに提案応募があり、「インターネットラジオ」の実現をはかられ、FM局についても検

討を進め開局に向けて動き出されたと伺っています。今後、市に相談等がありましたら、市の支援制度の紹介等により適切に対応していきたいと考えています。

**問** 当市の情報網、ホームページやSNSの整備状況、また光ファイバー等の整備状況は。

**答** 総務部長

ホームページは、市の様々な情報を発信する広報媒体として、各部署が随時に情報発信できるシステムを導入しています。地域SNSは、市民間の交流や市民と行政が交流を行う仕組みとして整備しています。光ファイバーは、限られたごく一部の場所を除き、ほぼ市内全域で情報通信サービスが受けられます。

※ソーシャル・ネットワークキング・サービスの略で、人と人のつながりを促進・サポートするコミュニティ型のWebサイト。



### 「いじめ」を防ぐ体制づくりを

山川 恒雄 議員

11月11日発生の市内中学校生徒によるいじめ事件について質します。

**問** いじめ等問題行動に対する学校教育現場の実態検証と、事件後、再発防止のための学校ならびに教育委員会の対応策は。

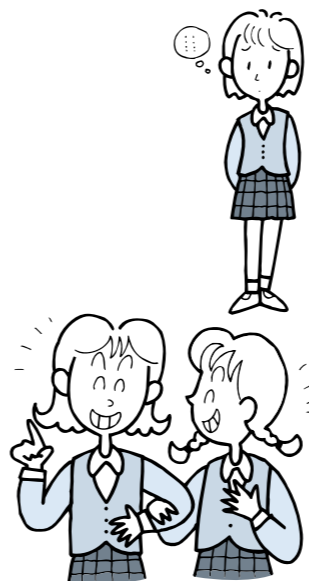
**答** 教育部長

これまで各学校では、問題行動の察知や早期対応、定期的な教育相談等に努めてきましたが、今回の事案を受け、緊急のアンケートや聞き取り等を実施しており、今後、情報交換の場を増やし、

組織的な指導に努めると共に、ストップいじめ行動計画の策定や、いじめに対する研修等にも努めます。

**問** 市民の声として、生徒指導の甘さ、教職員の資質の低下が厳しく指摘され、特に「携帯電話の持込禁止」の問題について今後の対応策は。

**答** 携帯電話の持ち込みについては、毅然とした態度で厳しく指導すると共に、PTAと連携した取り組みをします。



### 市民サービスと市民との協働について

秋永 安次 議員

**問** 保護者等から学校の隠ぺい体質や教職員の認識の甘さが厳しく問われている中で、保護者に納得のいく具体的対応策は。

**答** ストップいじめ行動計画を進める中で保護者に伝え、互いに連携して対応策を実践していきま

**問** 何故市の施設であるのに納付金を納めなければならないのですか。赤字決算でも納めるのですか。

**答** 政策部長

市が公益目的で整備した施設から生じる収益の一部は、市に還元すべきものとの基本認識です。今後発生する施設の改修費用に充当します。

**問** 納付金の額の決定対象が何故売上高に対しての率なのか。すべての指定管理施設を対象にすべきでは。

**答** 運用指針に基づくもので、標準的収支が赤字の施設は対象外です。

**問** 納付金は設定しても支払う義務はないとの声がありますが、市の見解は。

**答** 納付金は、年度協定書の中で金額を明記しており、この協定に基づき納めていただくことになっていきます。



安定した利用がある市民サポートハウス

行政の市民サービスは、市民の視点にたった課題の発見により職員の日々の業務への改善の取り組み、市民との協働による意識改革が必要であると考えます。行政と市民との協働、そして市民が行政と地域との仲立ちを積極的にすすめていく事が大切なことであると思ひ、次の4点について伺います。

**問** コンビニ収納がなされていますが、収納効果はどのような現状ですか。また、より一層の市民サービスを図るため、土日、祭日を開庁し、各種証明書が発行できないでし

**答** 市民環境部長

コンビニ収納は10月末現在で約18,000件の利用があり、当初見込みを大きく上回ることで予測されます。土、日、

祝日の窓口開庁については、方法や経費等からの考察を行いながら、調査・研究します。

**問** 市民サポートハウスについての利用状況は。

**答** 年間200件を超え安定した利用が実現しています。

**問** みんなで創るまちづくり交付金の区、自治会の評価は。

**答** 一部で事務手続きの簡素化を要望される声はありますが、約7割強の区・自治会に肯定的に評価いただいています。

### 学校等防災教育について

児童、生徒が安心して学べる教育環境の整備として防災教育のあり方はどうか、次の点について伺います。

**問** 児童、生徒が臨機応変に避難行動がとれる取り組みは。

**答** 教育部長

現在の防災計画を見直し、実情に即した統一的で実効性のある内容になるよう策定作業を進めています。

**問** 保育園、幼稚園の防災対策は。

**答** 子ども局長

現行の防災計画を見直し、実情に即した統一的で実効性のある内容になるよう策定作業を進めています。